

## 思い描いた空間に ライティングで近づいていく

柳原照弘さん(TERUHIRO YANAGIHARA STUDIO) × 永富裕幸さん(NEW LIGHT POTTERY)に聞く

「FYLGDU MÉR OSAKA.」は、大阪・新町に位置するオーガニックカフェ&レストラン。

旬の野菜とスパイスを生かした健康的な料理で人気を博している。

同店の設計を手掛けた柳原照弘さん(TERUHIRO YANAGIHARA STUDIO)と

照明計画を手掛けた永富裕幸さん(NEW LIGHT POTTERY)は、明かりの在り方について、

「求める空気をつくり出すためのものであることを踏まえれば、いかにその存在感を抑えられるかが問われる」と語る。

取材・文／大曾 力 ポートレート撮影／堀口宏明

### 「照明」ではなく、「光」を設計する

柳原照弘さんと永富裕幸さんとの付き合いは長く、永さんが照明メーカーに在籍していた時代にさかのばる。大阪・堺の美容室「ne」(2010年)で、天井面から照明器具を排したライティングを成立させて以来、多くのプロジェクトで協働してきた。

柳原さんが欲するライティングの根底にあるのは、空間に適した光環境をつくるという考え方。必要なのは「光」であり、「照明」が主張する必要はない。実際、柳原さんの手掛ける空間は照明器具や光源を意識させないものが多く、「レストランはシェフと料理、客で空気感がつくられます。演出の明かりは必要ありません。むしろ見えないところの設計が重要です」と説明する。

### ライティングを通して マテリアルに表情をつける

同店における照明計画の基本的な考え方は、まず天井スリットにスポットライトを設け、壁面などに適度な光を当てて照度を確保する。そして、天井スリットから光が届かない位置には特注の照明器具で補うというものだ。柳原さんは「NEW LIGHT POTTERYは器具メーカーとしての側面も持つので、特注照明の採用は最初から考えていました」と語る。

天井スリット照明は柳原さんもよく採用する手法で、和菓子店「餅匠しづく 大阪新町店」(2008年)で初めて用いたという。一般に、天井スリット照明は空間の中央に設ける。光が届く範囲が広いからだ。一方で、スリットが目に付きやすいのが難点となる。「餅匠しづく」では、壁際と共に、中央に据えられたカウンター上にもスリットを設けており、それらの設置箇所については幾度

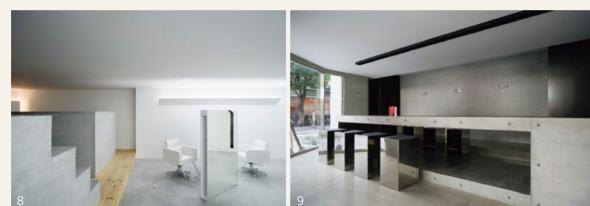
となく検討が重ねられたという。今回は、壁際の天井スリットを更に目立ちにくくするための、二段式アームのスポットライトを制作。アームの可動域が広くなったことで、一般的なスポットライトよりも照らせる範囲を広げられるようになった。天井スリット照明は、素材感を生かすよう、照らし方に配慮している。永さんは「光の当て方次第で、素材感を出すことも消すこともできます」と話す。トラバーンの壁は、直接当てるときが強すぎて、テクスチャが表現されない。そこで、壁を光がなめるように角度を調整した。炭鉱を混ぜた左官壁は独特な凹凸があり、直接光が乗ると陰影が強く出すぎるため、床に当てるた光のリバウンドで照らしている。そして、カウンターに貼られた特注の陶板は、マッシュなボリューム感を出すために立ち上がりの部分を照らした。正面から当てるとき板のむきりが表現されないため、光を横から差し込むように当てる。

宙に浮く「フラットバー」から  
降り注ぐ柔らかな光

ロングテーブルの上には、象徴的で柔らかな光

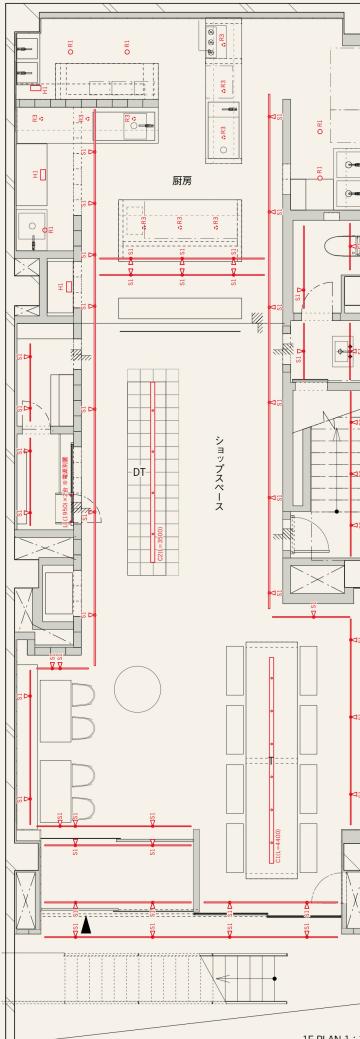
が求められた。天井のダウンライトから照らす強い光が必要となるものの、光が広がり顔に掛かることが危惧され、料理を見る環境として適切ではない。通常はペンダント照明を設置するが、照明器具が空間に現れる事態は避けたかった。そこで、フラットバーがテーブル上に浮いているように見える特注照明を設置することにした。フラットバーをつるすパイプに光源を仕込むことで器具であることは意識せれない。柳原さんのスケッチを基に、永さんは詳細を検討した。まずはパイプの径だ。パイプが大きくなると照明器具感が表れてしまうため、最小限の直径34mmに抑え、その中に直径28mmのダウンライトを仕込んだ。更に、横から光源が見えないよう、ダウンライトのトリムとパイプの縁を同面にするため、パイプを1mmほど削て納めている。永さんは、「シンプルな形状の方が迷いが利かず、加工にも精度が求められます。工場とも密にやり取りすることで、完成に至りました」と振り返る。

特注照明の制作は、納期も課題となる。器具のイメージや個数を計画の初期段階から共有しておくことが重要だ。永さんは、「今回のような

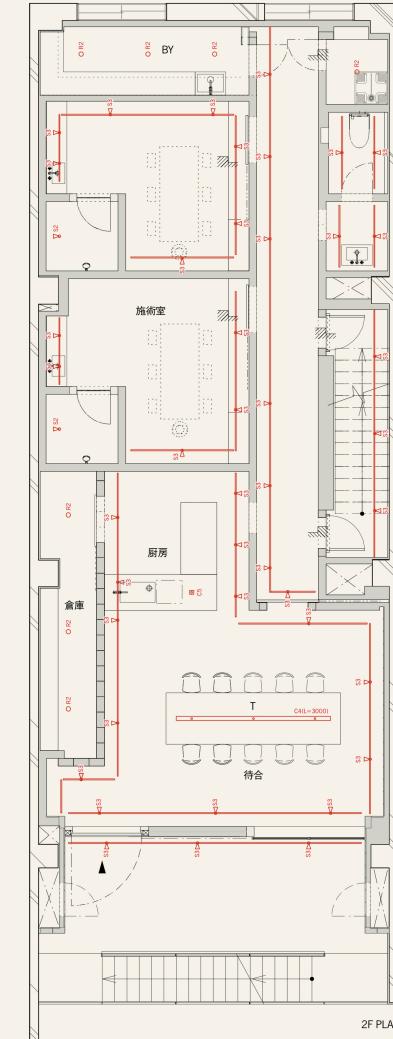


8. 柳原照弘さんと永富裕幸さんが初めて協働した美容室「ne」(2010年)

9. 和菓子店「餅匠しづく 大阪新町店」(2008年)では、壁際と共に店内中央にスリット照明を設けているが、存在感を感じさせない意匠が施されている(2点撮影／太田拓実)



1F PLAN 1:100



2F PLAN

### 器具一覧

S1: プラグスポットライト(黒) / LED2700K9W×6L4400 (NEW LIGHT POTTERY)
調光仕様 色温度ダブルフルターアクセス
S2: 直付式防湿式スポットライト(黒) / LED2700K9W×4L3500 (NEW LIGHT POTTERY)
調光仕様 色温度ダブルフルターアクセス
S3: プラグスポットライト(黒) / LED2700K12.6W628lm27°Ra90 (MS10407-82-90 / マックスレイ)
R1: ダウンライト(黒) / LED2700K8.8W340lm60°Ra82 (AD42766L / コイズミ照明)
R2: ダウンライト(白) / LED2700K8.8W425lmRa82 (AD42905L / コイズミ照明)
R3: 棚下ダウンライト(黒) / LED2700K4.2W223lm60°Ra80 (SDL8201ALL-B / ライティング創)